

11 事業概要説明資料

令和5年度予算は、地域課題に立ち向かい、ひととまちに寄り添い、豊かさと成長が両立する持続可能な未来への歩みを着実に進める予算と位置づけ、以下の重点課題を掲げ編成しました。

重点課題

- ① 感染症をはじめエネルギー問題や自然災害など危機に直面する区民生活を支え、地域の強靱化により安全・安心を確保する取組
- ② 安心して子どもを産み育て、学びやすい環境づくりを進め、誰もがライフステージに応じて活躍し、成長を支える包摂的な地域づくりに向けた取組
- ③ デジタル技術の活用やSDGs、脱炭素を意識し、地域経済の持続的な発展と快適で魅力ある都市機能の向上により都市間競争に打ち克つ取組

次ページ以降は、重点課題ごとに令和5年度事業概要説明を記載しております。

重点課題①

感染症をはじめエネルギー問題や自然災害など危機に直面する区民生活を
支え、地域の強靱化により安全・安心を確保する取組

- 体験型防災アトラクション委託 451万4千円
子どもや子育て世代等、地域の防災訓練への参加が難しい世代に向けて、災害発生時の対応や日頃の備えについて学ぶ機会を提供するとともに、会場での災害疑似体験を通じて区民の防災意識向上を図ります。
問合先 総務部 防災危機管理課 防災危機管理担当(03-5744-1611)

- 小学生向け出前講座の開催(マイ・タイムライン) 1,290万5千円
将来、地域防災を担う小学生の防災意識向上を目的として、年10回の出前講座を行います。マイ・タイムライン等の作成に必要なハザードマップの見方や災害からの身の守り方等を防災の専門家が解説します。
問合先 総務部 防災危機管理課 防災危機管理担当(03-5744-1611)

- 大田区防災ポータル・アプリの改修 2,310万円
防災ポータル及び防災アプリを通じて、より多くの災害情報を伝達することを可能とし、国籍を問わず誰もが分かりやすく正確な情報を得られるよう、さらなる多言語化(108か国語)を行うとともに、防災無線で放送した内容を、アプリ上でも確認することが可能となるようシステムを改修します。
問合先 総務部 防災危機管理課 防災危機管理担当(03-5744-1236)

- 防犯啓発活動 1,186万7千円
高齢者に被害が多い特殊詐欺の防止に効果がある自動通話録音機の貸与窓口を拡充するほか、防犯講座を開催する等、特殊詐欺被害の撲滅を目指します。また、キーホルダーやワイヤーロック錠等を活用して、区内の刑法犯認知件数の3割強を占める自転車盗難の防止及び鍵かけの啓発に取り組みます。
問合先 総務部 防災危機管理課 防災危機管理担当(03-5744-1634)

■ (仮称)大田区田園調布せせらぎ公園体育施設新築工事 4億2,580万8千円
田園調布せせらぎ公園内に、地域の方々がスポーツや健康づくりに親しむことができ、スポーツを通じて地域の活性化にも繋がる体育施設を整備します。災害時に補完避難所として避難住民や帰宅困難者の安全を確保するとともに、物資の備蓄保管体制等を構築します。
問合せ先 地域力推進部 田園調布特別出張所(03-3721-4261)

■ 新型コロナウイルス感染症等感染症関連業務 11億6,235万8千円
新型コロナウイルス感染症対応に必要な看護師業務、関連事務業務及びコールセンター業務を委託し保健所体制を確保するとともに、入院医療費の健康保険自己負担分、入院等に係る移送費について公費負担します。
問合せ先 健康政策部 感染症対策課 感染症対策担当(03-5744-1263)

■ 新型コロナウイルスワクチン接種事業 5億2,348万9千円
新型コロナワクチン接種に係る相談や接種証明書発行等を行うコールセンター・窓口を運営します。
問合せ先 健康政策部 感染症対策課 新型コロナウイルスワクチン接種調整担当
(03-5744-1493)

■ 災害時医療体制の整備(救護所運営に必要な備蓄品の配備) 4,263万2千円
区内震度6弱以上の地震発生時に病院前に開設する緊急医療救護所において、「季節・天候・時間・人手」に影響されない体制づくりを目指し、病院ごとの配備状況に応じた備蓄品を配備します。
問合せ先 健康政策部 健康医療政策課 地域医療政策担当(03-5744-1264)

■ 個別避難計画作成業務 3,706万4千円
避難行動要支援者(約18,000人)の内、水害時にリスクの高い方について個別避難計画の作成支援を行います。その他の要支援者に対し計画書様式を送付し、周知・啓発を行います。作成した計画書を区へ情報提供いただき、これらの情報を基に避難先等の調整・確保を行う等、災害発災時の避難支援等に役立てます。
問合せ先 福祉部 福祉管理課 調整担当(03-5744-1271)

■ 事前復興まちづくり訓練の実施(大田区都市計画マスタープランの推進) 584万2千円
大規模災害の被害を想定して、地域と協働による復興まちづくりを事前検討するための訓練を実施し、発災後の円滑かつ早期の都市復興を図ります。
問合せ先 まちづくり推進部 都市計画課 計画調整担当(03-5744-1333)

■ 羽田地区私道等無電柱化事業の側面的支援の推進 **新規** 750万円
木造住宅が密集し、延焼の危険性が高い羽田地区では、燃えないまちの実現に向けて、不燃化促進事業の取組を今後も積極的に推進します。こうした中、都の私道等無電柱化事業を側面的に支援し、さらなる不燃領域率の向上とともに避難通路の整備等に繋げていきます。
問合先 まちづくり推進部 防災まちづくり課 市街地整備担当(03-5744-1338)

■ 空家対策事業 1,641万9千円
空家総合相談窓口や空家総合相談会を開催し、空家の適切な維持管理や活用を支援します。また、管理不全な空家所有者に対し適正な管理を促すことで、地域を活性化し、区民が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進します。
問合先 まちづくり推進部 建築調整課 空家対策担当(03-5744-1301)

■ 区道の無電柱化 8,281万3千円
景観の向上や、自然災害時の電柱倒壊による道路閉塞等を未然防止する区道の無電柱化を推進し、「都市防災機能の強化」「安全で快適な歩行空間の確保」「良好な都市景観の創出」を目指します。
問合先 都市基盤整備部 建設工事課 工事担当(03-6436-8728)

重点課題②

安心して子どもを生み育て、学びやすい環境づくりを進め、誰もがライフステージに応じて活躍し、成長を支える包摂的な地域づくりに向けた取組

■ (仮称)大森西二丁目複合施設の整備 新規 6億7,360万円

大森西地区における区民活動支援施設大森は、老朽化が進行していることから、施設更新を好機と捉え、区が定める各種計画の基本理念を骨格としながら、大森西地区における安全かつ安心なまちづくり推進、将来を見据えた施設整備を進めます。

《施設概要》

- (1)大森西特別出張所
- (2)大森西区民センター
- (3)地区備蓄倉庫
- (4)大田福祉作業所大森西分場
- (5)大田区シルバー人材センター大森西作業所
- (6)大森西保育園

問合先 地域力推進部 大森西特別出張所(03-3764-6321)

■ 大森北四丁目複合施設の整備 15億9,568万4千円

入新井第一小学校の改築にあたり、教育環境の維持・向上とともに、地域特性や行政需要に応じた公共施設を複合的に整備します。学校教育機能や各施設の機能が連携することによってもたらされる相乗効果を通じて、新たな教育と地域力の拠点となることを目指します。

《施設概要》

- (1)区民活動施設
- (2)男女共同参画支援施設
- (3)地域防災施設
- (4)地域包括支援センター・シニアステーション
- (5)子育て支援施設
- (6)つばさ教室

問合先 地域力推進部 入新井特別出張所 (03-3761-5303)

■ (仮称)北千束二丁目複合施設の整備

5億2,389万8千円

赤松小学校の改築にあたり、当校の特性を活かし、学校教育の維持・向上に資する教育機能を持たせるとともに、地域特性や行政需要に応じた公共施設を整備します。施設の複合化による効果的・効率的な整備を通じて相乗効果を生み、教育と地域力の新たな拠点とします。

≪施設概要≫

- (1)千束特別出張所
- (2)地区備蓄倉庫
- (3)地域包括支援センター・シニアステーション

問合せ先 地域力推進部 千束特別出張所(03-3726-4441)

■ (仮称)西蒲田七丁目複合施設の整備 新規

2,604万1千円

蒲田西特別出張所跡地に、地域活動支援、若者相談支援、生活困窮者支援、子育て支援など、地域住民の様々なニーズに対応し、切れ目のない支援と区民活動への参画を促進するための公共施設を整備します。

≪施設概要≫

- (1) (仮称)蒲田西地区地域活動拠点(現・ふれあいはずめま集会室)
- (2)大田区若者サポートセンター(フラットおおた)
- (3)大田区生活再建・就労サポートセンター(JOBOTA)、大田区ひきこもり支援室(SAPOTA)
- (4)保育室サン御園

問合せ先 地域力推進部 蒲田西特別出張所 (03-3732-4785)

■ 都区合同庁舎建設に係る負担金

6億2,962万8千円

「大田区公共施設等総合管理計画」に基づき、効率的・効果的な施設マネジメントによる区民サービスの維持・向上を実現するため、東京都と連携し、蒲田西特別出張所等と大田都税事務所からなる都区合同庁舎の整備を進めています。

≪施設概要≫

- (1)蒲田西特別出張所
- (2)地域包括支援センター・シニアステーション
- (3)大田区 いきいき しごと ステーション
- (4)(社福)大田区社会福祉協議会
- (5)大田区シルバー人材センター
- (6)大田都税事務所

問合せ先 地域力推進部 蒲田西特別出張所(03-3732-4785)

■ 地域スポーツクラブの活動支援

61万8千円

総合型地域スポーツクラブ(以下、総合型クラブ)は、スポーツを通じた区民同士の交流や地域でのスポーツの定着に貢献しています。総合型クラブの指導者を企業や児童館に派遣し、様々なスポーツプログラムを実施することで、スポーツ実施率の向上を図るとともに、クラブの育成につなげます。

問合先 スポーツ・文化・国際都市部 スポーツ推進課 スポーツ推進担当
(03-5744-1441)

■ 運動部活動の地域移行に関する検討会 新規

90万円

スポーツ庁が進める運動部活動の地域移行の方針に沿って、区、教育委員会、(公財)大田区スポーツ協会、総合型クラブ、学校関係者などを構成団体とした検討会を立ち上げ、検討を進めていきます。

問合先 スポーツ・文化・国際都市部 スポーツ推進課 スポーツ推進担当
(03-5744-1441)

■ 勝海舟生誕200年に向けた事業・展示・運営強化

1,419万5千円

勝海舟生誕200年を契機に令和5年1月～令和6年3月にかけて、特別展の開催や区内外への魅力発信、地域に根差した学びの場として運営強化を進めます。

問合先 スポーツ・文化・国際都市部 文化振興課 文化振興担当(03-5744-1226)

■ 地域力を活かした大田区版「地域共生社会の実現」(重層的支援体制整備事業の実施)

3億8,397万1千円

① 重層的支援体制整備事業

1億1,588万1千円

支援を必要とする方々に対して、課題に応じて、関係機関や多様な地域の団体が連携し、チームで支援する体制を強化するとともに、誰もが参加できる社会の実現と、包摂的な地域づくりを一体的に整備し、区が誇る地域力を活かした大田区版重層的支援体制整備事業を本格実施します。

問合先 福祉部 福祉管理課 調整担当(03-5744-1271)

② おおたフード支援ネットワーク事業 **新規**

894万8千円

地域住民や民間企業と連携したフードドライブ活動の推進等、「食」の支援を通じ、生活に困難を抱える人を支えていくための地域の取組を推進し、生活困窮者を地域全体でささえる地域の基盤づくりを支援していきます。

問合先 福祉部 福祉管理課 調整担当(03-5744-1721)

③ 大田区社会福祉協議会の運営

2億2,271万5千円

地域福祉実践の重要なパートナーである大田区社会福祉協議会が福祉の専門性を継続的に発揮し、柔軟性・機動性を持って事業を拡大していくために、法人の運営を支援します。

問合先 福祉部 福祉管理課 調整担当(03-5744-1244)

④ 大田区福祉人材育成・交流センターの運営

944万7千円

区内福祉従事者の支援スキルの向上や多機関連携による包括的なチーム支援を推進していくため、様々な研修会や交流会を実施します。また、福祉事業所での人材育成・人材定着を支援するため、人材育成担当者向けセミナーの実施やeラーニング研修の充実を図ります。

問合先 福祉部 福祉管理課 調整担当(03-5744-1721)

⑤ ひきこもり支援室運営業務委託

2,698万円

大田区生活再建・就労サポートセンターJOBOTA(ジョボタ)の機能を拡充し、ひきこもり支援室SAPOTA(サポタ:サポート+大田の造語)を開設しました。SAPOTAでは、相談支援、アウトリーチ支援、居場所の提供、適切な支援機関へのつなぎ等を実施しています。

問合先 福祉部 蒲田生活福祉課 自立支援促進担当(03-6715-7015)

■ 地域力を活かした大田区版「地域共生社会の実現」(子どもの支援の取組)

1億461万6千円

① 子どもと地域をつなぐ応援事業

6,740千円

支援を必要とする子育て家庭に対し、区の支援情報や地域活動団体のイベント情報等を郵送し、子育て家庭が地域の支援者と日常的につながりを持つ機会を創出することで、子育て家庭の孤立防止を図ります。

問合先 福祉部 福祉管理課 調整担当(03-5744-1244)

② 子どもの生活応援推進事業(絵本でつなぐ地域と親子のきずな)

580千円

「大田区子ども生活応援基金」を活用し、未就学児がいるひとり親家庭等に、絵本等を配付します。絵本等を受け取りに児童館等を訪れることで、子育て家庭が身近な地域の子育て相談窓口とつながりを持つきっかけをつくり、地域における見守り強化を図ります。

問合先 福祉部 福祉管理課 調整担当(03-5744-1244)

③ 地域とつくる支援の輪プロジェクト

9万8千円

区、大田区社会福祉協議会、子どもの生活応援に資する活動に取り組む地域活動団体等のネットワークを構築し、子ども・若者や地域活動団体等と意見交換を行う機会を設けることで、地域全体で子どもを包み込むような支援体制づくりを進めます。

問合先 福祉部 福祉管理課 調整担当(03-5744-1244)

④ こども食堂推進事業

2,880万円

食事の提供とともに、子どもや保護者が安らげる居場所として地域で展開されている「こども食堂」の継続的・安定的な活動を支援するため、運営団体に対して活動費の一部を補助します。

問合先 福祉部 福祉管理課 調整担当(03-5744-1244)

⑤ 離婚と養育費にかかわる総合相談

99万1千円

子どもが健やかに成長するための環境を整備するため、離婚前後の生活や養育費に関する弁護士による総合相談を実施します(年4回)。大田区生活再建・就労サポートセンターJOBOTA(ジョボタ)による「子どもの生活応援臨時窓口」を同時に開催します。

問合先 福祉部 福祉管理課 調整担当(03-5744-1244)

- ⑥ 養育費に関する公正証書等の作成促進補助事業 75万2千円
養育費の取決めに関する正証書作成費用等に対し、補助金を支給します。公正証書等の作成を促進し、養育費の確実な受給を図ることで、子どもの健やかな成長を支えます。
問合先 福祉部 福祉管理課 調整担当(03-5744-1244)

- ⑦ ほほえみごはん事業 新規 1,403万7千円
生活に困難を抱える子育て家庭への「食の支援」を通じて、子どもやその保護者が身近な支援者との日常的なつながりを持つ機会を提供することで、地域における見守り体制の強化及び子育て家庭の孤立防止を図ります。
問合先 福祉部 福祉管理課 調整担当(03-5744-1244)

- ⑧ 生活困窮者自立支援法に基づく任意事業(子どもの学習・生活支援事業) 5,261万8千円
生活に困難を抱える世帯の子どもに対して、学習支援や相談支援を行うことにより、基礎学力の定着と高校進学を支援します。進学後も学校生活をはじめとした、あらゆる相談を受け付けます。また、高校未進学者・中退者のうち、高校入学や高等学校卒業程度認定試験を目指す方の学びなおしを支援します。
問合先 福祉部 蒲田生活福祉課 自立支援促進担当(03-6715-7015)

■ 子育てに優しいまち おおた 10億9,847万9千円

① 特定不妊治療費助成(先進医療) **新規** 2,505万1千円

健康保険適用外の不妊治療にかかる先進医療に要した費用のうち、都が助成した費用を差し引いた額を助成し、不妊治療に係る経済的負担を軽減します。

問合せ先 健康政策部 健康づくり課 健康づくり担当(03-5744-1661)

② 妊婦面接時の子育て応援券の配付 5,293万4千円

妊娠届出後に「妊婦面接」を行い、面接を受けた方へこども商品券を支給し、必要に応じて保健師による継続支援を行います。

問合せ先 健康政策部 健康づくり課 健康づくり担当(03-5744-1661)

③ 出産・子育て応援事業 **新規** 7億490万3千円

妊娠届を提出し「妊婦面接」を受けた妊婦、出生届を提出し保健師等による「すこやか赤ちゃん訪問」を受けた子どもの養育者へギフトを支給し、妊婦・子育て家庭への支援を強化します。

問合せ先 健康政策部 健康づくり課 健康づくり担当(03-5744-1661)

④ 転入子育て家庭面接 **新規** 422万9千円

大田区に転入した2歳未満の子どもを養育する家庭に面接を実施し、面接を受けた家庭へクオカード Pay を支給します。子育て情報を提供し、子育ての悩みや負担を軽減します。

問合せ先 健康政策部 健康づくり課 健康づくり担当(03-5744-1661)

⑤ 産後ケア事業 2,122万円

宿泊型、日帰り型の実施医療機関を増やすほか、グループケア型の開催場所、開催回数を増やし、支援が必要な方が利用しやすいように事業を拡充します。

問合せ先 健康政策部 健康づくり課 健康づくり担当(03-5744-1661)

⑥ アンバーサリーサポート事業 **新規** 1億6,374万5千円

1歳児を養育する家庭にアンケートを実施し、回答者へこども商品券を支給します。妊娠から出産・子育て期までの切れ目のない支援を強化します。

問合せ先 健康政策部 健康づくり課 健康づくり担当(03-5744-1661)

- ⑦ バースデーサポート事業 8,480万円
 2歳児を養育する家庭にアンケートを実施し、回答者へこども商品券を支給します。家庭状況を把握することで、支援が必要な方へ早期支援を行います。
 問合せ先 健康政策部 健康づくり課 健康づくり担当(03-5744-1661)
- ⑧ とうきょう子育て応援パートナー制度 新規 3,144万5千円
 切れ目のない伴走型相談支援の実現に向けて、新たに専門職を配置し、特に支援が必要な家庭をきめ細やかにサポートできる体制を整えます。
 問合せ先 健康政策部 健康づくり課 健康づくり担当(03-5744-1661)
- ⑨ 子育て応援メール 1,015万2千円
 子育て情報のメールマガジンの配信対象を18歳の子の保護者まで拡大します。妊娠期から思春期まで子どもの成長に合わせた子育て情報を継続的に提供し、子育てに関する悩みや孤立感を軽減します。
 問合せ先 健康政策部 健康づくり課 健康づくり担当(03-5744-1661)
- 人生100年を見据えた健康寿命延伸プロジェクト 2,295万7千円
 東邦大学と連携し、行政情報、質問票調査を18特別出張所(地区)別に分析し、健康寿命の延伸を目指します。4年目に当たる令和5年度は、実装戦略として小学校、企業、地域への取組を4地区に広げて実施し、「若い世代からの健康づくり」を働きかけます。
 問合せ先 健康政策部 健康医療政策課 健康政策担当(03-5744-1682)
- 高校生等医療費助成事業 新規 4億4,026万6千円
 こども医療費助成制度の対象を高校生相当年齢まで拡大します。
 問合せ先 こども家庭部 子育て支援課 こども医療係(03-5744-1275)
- 産後家事・育児援助事業 6,487万1千円
 産後6か月までの産婦に産後ドゥーラ、2歳までの子どもを育児中の世帯にヘルパー、助産師を派遣し、産後の家事・育児の負担軽減を図ります。
 問合せ先 こども家庭部 子ども家庭支援センター(03-6410-8551)
- (仮称)大田区子ども家庭総合支援センター建築工事 6億6,120万円
 子ども家庭支援センターと児童相談所それぞれの機能を統合した「(仮称)大田区子ども家庭総合支援センター」の整備に向け、建築工事を開始します。
 問合せ先 こども家庭部 子育て支援課 児童相談所開設準備担当(03-5744-1685)

■ 下丸子公園庭球場の整備 **新規** 1,266万3千円

下丸子公園に、区の屋外スポーツ施設では初となる車いすテニスと兼用のテニスコートを増設し、スポーツを通じて誰もがいきいき暮らせる地域づくりを推進します。

問合せ先 都市基盤整備部 地域基盤整備第二課 地域基盤整備担当(03-5713-1118)

■ 公園リニューアル 2億795万8千円

① いきいき健康公園づくり 2,356万6千円

久が原地区にある呑川沿いの6か所の公園や広場において、健康遊具やサイン等の設置工事を実施し、ウォーキングと組み合わせて気軽に健康を増進することができる環境を創出します。

問合せ先 都市基盤整備部 公園課 計画調整担当(03-6715-1825)

② 子育てひろば公園づくり 4,351万8千円

萩中公園の遊具広場の一部(老朽化し利用率が低い休憩エリア)について、乳幼児が安全・安心に遊べる遊具等を設置し、「子育てひろば」として再整備を行います。

問合せ先 都市基盤整備部 公園課 計画調整担当(03-6715-1825)

③ 公園の魅力アップ 1億4,087万4千円

羽田地区の六間堀緑地について、施設の老朽化に伴い全体改良工事を行います。地域における交流の場として活用するため、令和5年度は、乳幼児を中心とした遊具広場や健康遊具広場、キャッチボール広場等の施設整備を実施します。

問合せ先 都市基盤整備部 公園課 計画調整担当(03-6715-1825)

■ 拠点公園の整備(都市計画公園) 4億9,121万5千円

「新スポーツ健康ゾーン」の充実を図るため、平和島公園にバスケットコートの新設、大森東水辺スポーツ広場にナイター設備の新設等を行います。公園それぞれが持つ魅力を向上し、区民に愛され、様々な方々が交流できる場とすることで、選ばれるまちづくりを推進します。

問合せ先 都市基盤整備部 公園課 計画調整担当(03-6715-1825)

■ (仮称)新おおた教育ビジョンの策定 **新規** 836万4千円

大田区における教育の振興のための施策に関する基本計画である「(仮称)新おおた教育ビジョン」を策定します。これからの教育施策を推進するための基本的な理念や考え方、具体的な施策の方向性を示し、未来の社会を生きる子どもたちが必要な資質・能力を身に付けることを目指します。

問合せ先 教育総務部 教育総務課 経営計画担当(03-5744-1423)

■ 学校施設の改築及び増築 109億1,277万8千円

良好な教育環境を確保するため、学校施設の計画的な整備に取り組んでいます。令和5年度は、これまでに計画した計17校の整備・改築に向けて取り組むとともに学級増に対応するため2校の校舎増築工事を実施します。

問合先 教育総務部 教育総務課 施設担当(03-5744-1399)

■ 特別支援教育の充実 4億5,403万2千円

① 小学校特別支援学級(自閉症・情緒障害特別支援学級)の新設に伴う環境整備 新規 357万2千円

知的障がいがなく、自閉症や情緒障がいにより他者との意思疎通及び対人関係の形成が難しく、社会生活への適応が困難な児童を対象とした特別支援学級を、令和6年度に大森東小学校に設置し、一人ひとりの障がいの状態に応じた指導内容や指導方法を工夫しながら、少人数での指導を行います。

問合先 教育総務部 学務課 特別支援教育担当(03-5744-1440)

② 特別支援教育の充実に伴う学校特別支援員の拡充 1億6,180万1千円

発達障がい等を含む特別な支援を必要とする児童・生徒の指導に当たる教員を支援する人的配置を拡充し、対象児童・生徒が抱える生活上の困難を改善・克服することを目指します。

問合先 教育総務部 指導課 学校支援担当(03-5744-1424)

③ 特別支援学級新設校への特別支援学級介添員の配置(小学校) 1億8,213万9千円

心身に障がいのある児童への教育を保障するとともに、一人ひとりの児童の障がいの特徴及び発達の状況に応じた適切な教育を行うことを目的に、特別支援学級に介添員を配置します。また、令和5年度は特別支援学級が2学級新設されるため、当該校へ新規配置を実施します。

問合先 教育総務部 指導課 学校支援担当(03-5744-1424)

④ 特別支援教育の充実に向けた特別支援学級介添員の増員(中学校) 1億652万円

心身に障がいのある生徒への教育を保障するとともに、一人ひとりの生徒の障がいの特徴及び発達の状況に応じた適切な教育を行うことを目的に、特別支援学級に介添員を配置します。また、きめ細かい支援が必要な生徒により一層特別支援教育の拡充を図るとともに、学級活動における円滑で安全な運営の確保を目指します。

問合先 教育総務部 指導課 学校支援担当(03-5744-1424)

■ 不登校特例校分教室における転入学支援スペース「(仮称)プレみらい」
の設置・運営 **新規** 937万円
御園中学校の分教室として開室している不登校特例校分教室みらい学園中等部で生徒を受け入れる際に、不登校状態から入室後の急激な環境の変化(生活サイクルや運動量等)による不適応を防ぐために、体験入室等を行う転入学支援スペース「(仮称)プレみらい」を設置します。
問合先 教育総務部 指導課 (03-5744-1435)

■ 学びの充実 3,900万6千円
① おおたグローバルコミュニケーション(OGC)の新設による「おおた国際教育推進校」の指定 **新規** 829万2千円
大田区立小学校全校が実施する英語に係る授業の教育課程に加えて、児童が英語に親しみ、積極的に英語を用いたコミュニケーションを行うための国際教育に関する学習を行うOGCの取組について、研究校として大森東小学校を指定し、国際教育を推進します。
問合先 教育総務部 指導課(03-5744-1435)

② 教科「おおたの未来づくり」の新設によるSTEAM教育の推進 3,071万4千円
変化の激しい社会の中で、子どもたちが、未来を拓き地域を支える人となるために必要な「創造的な資質・能力」の育成を目指し、令和7年度から、小学校第5・6学年を対象とした独自教科「おおたの未来づくり」の新設し、社会や生活をよりよく豊かにする「もの」や「取組」を創出する学習を通して、STEAM教育を推進します。
問合先 教育総務部 指導課(03-5744-1435)

重点課題③

デジタル技術の活用や SDGs、脱炭素を意識し、地域経済の持続的な発展と快適で魅力ある都市機能の向上により都市間競争に打ち克つ取組

■ ゼロカーボンシティ推進に向けた事業者向け支援 18億7,839万円

① ものづくり工場立地助成の拡充 1億1,490万9千円

区内の工場の新増設、移転、付帯設備の導入・改修に係る費用の1/3を助成します。工場の照明LED化、空調機の更新その他省エネ設備の導入も対象となります。令和5年度も引き続き、対象経費の下限額を500万円から50万円とし、区内中小企業の脱炭素化を促進します。

問合先 産業経済部 産業振興課 産業振興担当(03-5744-1376)

② 中小企業融資あっせん制度の拡充 17億3,976万4千円

融資あっせん制度のうち「温暖化対策推進企業支援資金」の対象にSDGs経営に取り組む事業者を加え、さらに融資限度額を500万円から1,000万円に拡充し、「SDGs・脱炭素推進企業支援資金」とする等、SDGs・脱炭素に取り組む事業者を支援します。

問合先 産業経済部 産業振興課 融資係(03-3733-6185)

③ 繁盛店創出事業 2,371万7千円

集客力アップを目指す商業・サービス業事業者に対し、専門家のアドバイスに基づき店舗改善等の必要経費を一部助成します。令和5年度からはSDGsを推進する取組を行う場合に最大10万円の加算、グループでの申込みや一度利用した方の再度の申請を可能とする等、内容を拡充します。

問合先 産業経済部 産業振興課 産業振興担当(03-5744-1363)

■ 受・発注相談事業 2,923万1千円

区内中小企業の取引の拡大に繋げるため、様々な案件に対して専門の相談員が適切な区内中小企業を紹介する窓口を設置するほか、発注企業と受注企業が全国から集まる商談会を実施して幅広くビジネスチャンスの場を提供します。

問合先 産業経済部 産業振興課 産業振興担当(03-5744-1363)

■ デジタル受発注プラットフォームの構築・拡大事業 3,879万7千円

令和4年度に始動した、大田区発で中小企業をデジタルで連携する「全国受発注プラットフォーム」を、令和5年度以降は、区内産業の特徴である「仲間まわし」をベースに、全国の中小製造業をさらに有機的につなぎます。世界から利益率の高い良質な仕事を呼び込み、区と国内製造業の稼ぐ力の向上に向けて取組を拡大していきます。

問合せ先 産業経済部 産業振興課 産業振興担当(03-6424-8655)

■ デジタル・データ活用による持続可能な稼ぐ力の創出支援事業 3,750万円

デジタル技術・データ活用やSDGs対応等、新たな取組をけん引する副業兼業人材と連携して、区内町工場・商店街の地域課題解決を目指します。また、優秀な副業兼業人材のネットワークを構築し、区内企業等の人材活用に向けてマッチングの仕組みづくりを進めていきます。

※副業兼業人材…地域活性化への情熱や専門性を有し、複数の業務に携わる人材

問合せ先 産業経済部 産業振興課 産業振興担当(03-6424-8655)

■ 商店街チャレンジ戦略支援事業 2億9,461万2千円

地域コミュニティの中核を担う商店会が実施するイベントや意欲のある若手・女性などが行う事業からハード整備まで、商店街機能の向上・活性化を促す取組に対して補助を行い、地域のにぎわいの創出を図ります。

問合せ先 産業経済部 産業振興課 産業振興担当(03-5744-1373)

■ (仮称)大田区プレミアム付デジタル商品券の発行 新規 4億4,200万円

区民生活の応援と地域経済の循環を創出するとともに、キャッシュレス決済を推進するため、(仮称)大田区プレミアム付デジタル商品券を発行します。令和3・4年度と補正予算で緊急経済対策として実施しましたが、昨今の経済状況を鑑み、令和5年度も引き続き実施することで、区民生活支援及び地域におけるキャッシュレス決済をさらに推進します。

問合せ先 産業経済部 産業振興課 産業振興担当(03-5744-1373)

■ 交通政策基本計画中間見直し 610万9千円

平成29年度に策定した「大田区交通政策基本計画」を、令和5年度の改定に向けて社会情勢の変化等を踏まえた中間見直し・検討を行っています。高齢社会への対応などを踏まえて、地域特性にあった交通手段として新たな取組であるデマンド型交通の実証実験を検討していきます。

問合せ先 まちづくり推進部 都市計画課 公共交通・臨海部担当(03-5744-1303)

■ コミュニティバス(たまちゃんバス)の運行支援事業及びEV化 5,180万1千円

コミュニティバスは、平成21年10月から公共交通不便地域の解消を目的として、矢口地域において試行運行支援を開始し、令和元年7月から本格運行に移行しました。令和6年度にバスの耐用年数を迎えるため、令和5年度中にEVバスを購入し、環境負荷軽減に寄与する事業運営を目指していきます。

問合せ先 まちづくり推進部 都市計画課 公共交通・臨海部担当(03-5744-1303)

■ (仮称)大田区グリーンインフラ事業計画の策定 1,194万9千円

令和4年度における「大田区緑の基本計画グリーンプランおおた」の改定を契機として、課題解決の新たな手法となるグリーンインフラの考えを組み込み、みどりのまちづくりのさらなる推進を図ります。また、社会動向の変化やみどりの課題を的確に捉え、目標や指標を設定し、目指す“みどりのまち”の実現に向けた事業計画を策定します。

問合せ先 まちづくり推進部 都市計画課 計画調整担当(03-5744-1333)

■ 住宅リフォーム助成 1億2,366万2千円

区民が区内中小事業者に発注し、自己の居住する住宅のバリアフリー、環境への配慮、住まいの長寿命化、防犯・防災対策を目的とした住宅リフォーム工事及び吹付アスベスト除去工事、コロナ禍における新しい生活様式への対応工事を行う場合に工事費用の一部を助成します。

問合せ先 まちづくり推進部 建築調整課 住宅担当(03-5744-1416)

■ 防犯灯設置助成事業の拡充 7,286万1千円

私道におけるLED防犯灯の設置助成を行い、地域の安全性向上と脱炭素社会の実現を確保します。蛍光灯を環境面とライフサイクルコストに優れたLED灯として整備することで、エネルギー効率を改善するとともに、歩行者や自転車の夜間における視認性を高め、犯罪や交通事故を抑止します。

問合せ先 まちづくり推進部 建築調整課 地域道路整備担当(03-5744-1308)

- 新空港線整備と沿線まちづくり 16億7,736万9千円
- ① 新空港線の整備促進事業 2,063万9千円
 新空港線の早期整備に向け、第一期整備の周知活動や経済波及効果の推計、第二期整備に向けた検討と関係者との調整を進めます。
 問合せ先 鉄道・都市づくり部 鉄道・都市づくり課 鉄道・都市づくり担当(03-5744-1212)
- ② 新空港線整備主体への出資 5億5,000万円
 新空港線第一期整備の整備主体となる「羽田エアポートライン株式会社」が、円滑に事業を進めていくため、「新空港線整備及びまちづくり資金積立基金」を活用し、事業の進捗に応じた増資を行います。
 問合せ先 鉄道・都市づくり部 鉄道・都市づくり課 鉄道・都市づくり担当(03-5744-1212)
- ③ 新空港線整備及びまちづくり資金積立基金積立金 10億729万9千円
 財政負担の平準化を図るため、新空港線整備及び鉄道沿線のまちづくり事業の資金として、財政状況を勘案しながら必要な積立額まで計画的に積立を行います。
 問合せ先 鉄道・都市づくり部 鉄道・都市づくり課 鉄道・都市づくり担当(03-5744-1356)
- ④ 蒲田駅周辺地区の整備 7,233万4千円
 蒲田駅周辺の課題である駅舎・駅ビルの建替え、東西駅前広場の中長期整備、東西自由通路の設置等、新空港線整備を契機とした蒲田地区のさらなるにぎわいや回遊性の向上など、将来にわたり発展するまちを目指した地区整備を推進します。
 問合せ先 鉄道・都市づくり部 鉄道・都市づくり課 鉄道・都市づくり担当(03-5744-1339)
- ⑤ 平和島駅周辺地区のまちづくり 550万円
 地域住民や関係事業者と課題を共有・連携して平和島駅周辺地区のまちづくりの指針となるランドデザインを策定し、地域の特色を活かしたまちづくりを推進します。
 問合せ先 鉄道・都市づくり部 鉄道・都市づくり課 鉄道・都市づくり担当(03-5744-1356)
- ⑥ 下丸子1、2号踏切の抜本的な対策及び駅周辺のまちづくり 2,159万7千円
 下丸子駅周辺地区は、道路と鉄道の立体交差化と合わせたまちづくりを推進するため、まちづくりの具体的な方向性を示した「(仮称)下丸子駅周辺地区ランドデザイン」の策定に向けて検討を進めます。
 問合せ先 鉄道・都市づくり部 鉄道・都市づくり課 鉄道・都市づくり担当(03-5744-1212)

■ 洗足池駅周辺地区のまちづくり 784万3千円
洗足池駅周辺の都市基盤施設整備等のイメージを検討するとともに、地域資源を活かした魅力あるまちづくりを進めるための取組について、ハード・ソフト両面から検討を進めます。
問合先 鉄道・都市づくり部 鉄道・都市づくり課 鉄道・都市づくり担当(03-5744-1212)

■ 第2次大田区環境基本計画ほか策定業務 新規 1,167万1千円
大田区環境ビジョン2050に掲げる「温室効果ガス排出量実質ゼロ」「プラスチックごみゼロ」「食品ロス実質ゼロ」の3つのゼロを実現する施策を体系化し、その取組を強化していきます。
問合先 環境清掃部 環境計画課 計画推進・温暖化対策担当(03-5744-1625)

■ 資源プラスチック回収事業の推進 3億617万1千円
温室効果ガスの排出削減をはじめとした地球環境への負担軽減、さらにはごみ減量及び最終処分場の延命化を進めるため、資源プラスチック回収事業を推進する。
問合先 環境清掃部 清掃事業課 清掃リサイクル担当(03-5744-1628)